



Executive Interview

エグゼクティブ
インタビュー

no. 17

このコーナーは神奈川トヨタのお客様である経営者の方にお話を伺うコーナーです。

有限会社 江の島ハルミ マスター

濱口 光男 様

小田急線片瀬江ノ島駅から徒歩10分。江島神社の手前にあるハルミ食堂は、親子三代にわたって続いている老舗の食事処。江ノ島井発祥の店として知られています。お店の接客で大事にしていることや人気のメニューなどについて伺いました。

■昭和2年に開業した老舗の食事処

——ハルミ食堂を始めたのは？

昭和2年、妻の両親が開業しました。ハルミという名前は、「春の海」からとっています。義父は元々洋食のクック。義母と一緒に東京から江の島へやってきて、この地で店を開き、腕を振ったようです。

当時はメニューにカレーがありました。初めて食べた地元の人が「こげ茶のものがうまい！」と言って評判になり、当店のカレーが若い人の間で流行ったと聞いています。

その後、妻の両親は引退し、妻や息子が経営や調理にかかわるようになり、私も10年前からこの店で働いています。

——お店で働くようになったのは、どのようなきっかけですか？

元々は美容師をしていたのですが、妻と

藤沢の飲食店で出会ってから8か月で結婚しました。そこから、ゴールデンウィークやお盆などの繁忙期はお店を手伝うようになったんです。

その後、時代と共に美容業界はだんだん若い人が減少。その一方で、江の島が繁盛し始めたことをきっかけに美容師を辞め、お店で働くようになりました。元々接客業をしてきたので、抵抗はありませんでした。

——お客様と接する上で大事にしていることは何ですか？

1つは、お客様の心を和ませることです。どんなにおいしい料理でも、気分や体調が悪い時にはおいしくありません。なので、タイミングを見ながら時々お客様にダジャレを言っています。例えば、関東で働いていそうな方が大盛を頼まれた時には、「今日は大森はありません。蒲田止まりです」とか、「江ノ島御膳」

を頼まれた方には、「午前中に食べると良いんです」と言ったりします。ニヤッと笑って、料理を食べていただけたら嬉しいです。

もう1つは、明るく、わかりやすく、を心がけています。レジでは何を召しあがったか、いくらだったかを明瞭に大きな声でお伝えします。レジでお金をいただく時も大事な瞬間です。終わりよければすべてよし。明るく元気の雰囲気を作るようにしています。

——これまで働いていて、何かご苦労はありましたか？

実は、2011年元旦に当店で火事が起きたんです。原因は、茹でめん機に安全装置をつけていなかったというメーカーの設置ミスでした。しかし、火事を起こしたという道義的責任を問われ……。周りにご迷惑かけましたし、当店も営業再開するまでは約1年近くかかりました。



親子三代、老舗の食事処 江ノ島井発祥の店

その火事で妻の両親の遺影をのぞき、昔の写真がすべて燃えてしまったのが残念です。再開後はお客様が足を運んでくださり、2014年度はこれまでの最高益になりました。

■ 江ノ島井という名前を命名

——ハルミ食堂でおススメのメニューは何ですか？

ここは、江ノ島井発祥の店なんです。江ノ島井というのは、刻んだサザエやしらすが入っていて、それを卵と甘めの出汁でとじた丼ものです。元々サザエ丼という名前だったのですが、磯に来ていることを感じてもらいたいと思い、23年前に「江ノ島井」という名前に変えました。

人気があるのは生しらす丼です。3月11日にしらす漁が解禁になり、大晦日までは漁をすることができます。最近では、生しらすと釜揚げしらすのつた二色しらす丼も人気です。もちろん、「今日は時化で取れない」という時もありますが、それが自然な形です。

江の島と言えばしらす。しらす丼の注文が1日230食を超えた時もありました。まだまだブームは続きそうです。



——お店の他、地域の活動としてはどのようなことをしていますか？

私は、町内会の副会長、江の島観光会の役員、江の島環境美化推進協議会の副会長などをしています。人間、人の役に立ってなればですね。観光協会が主催している観光キャラバンには年2~3回行き、江の島の宣伝を積極的にしています。

改めて思うのは、私たちは江の島の自然があるからこそ商売ができています。いろいろな人たちと連携して、自然を守っていかねばならないと思います。



ハルミ食堂

〒251-0036
神奈川県藤沢市江ノ島2-1-12
小田急線片瀬江ノ島駅徒歩10分
TEL：0466-22-3629
営業時間：9：30～18：00（春・秋）
9：30～17：00（冬）
9：30～19：00（夏）
定休日：金曜日（7月8月は無休）



——今後の目標は何ですか？

将来的には、もうちょっとお店をグレードアップしたいです。具体的には、イタリアンのような雰囲気でお食を出したいと考えています。

江の島に来たら、ぜひシーキャンドル（展望灯台）に昇ってみてください。ここを昇らなければ、江の島に来た意味はありません。あの解放感の下では悩みの1つや2つなくなります。

東京から約1時間。360度海に囲まれたところはなかなかありません。ぜひ、江の島へお越しください。

<インタビューを終えて>

明るく、楽しく、元気よくがモットー。歌うことが大好きで、永ちゃん（矢沢永吉）にハマっている濱口さん。永ちゃんを歌うと、若い人から「おじさん、すごいね!」と言われるのが、すごく嬉しいと話す姿がとても印象的でした。